

先月のことになりましたが、9月といえど、「ご長寿をお祝いする『敬老の日』」があります。長年にわたりご家族や地域、そして市の発展のために「ご尽力いただいている高齢者の皆様に、心から敬意と感謝を申し上げます。

毎年この時期に全国の100歳以上の高齢者数(※)が発表されます。今年は過去最多の9万9763人となり、55年連続で増加しています。そのうち8万7784人、実に8割以上が女性です。本市では100歳以上の方が35人、うち33人が女性です。全国的に女性の長寿が際立っていること、そして、「人生100年時代」であることを実感しています。

「人生100年時代」という言葉は、2016年に、イギリスのリンダ・グラットン氏とアンドリュー・スコット氏が著書『LIFE SHIFT 100年時代の人生戦略』で提唱し、広く知られるようになりました。同書では、2007年に日本で生まれた子ども半数が107歳以上生きるとされています。将来、100歳を超えても元気で、旅行に出掛けたり、同窓会に参加できる—そんな時代が本当に訪れるかもしれません。

高齢の方が元気でいきいきと活躍されることは、地域全体の大きな力です。とりわけ、女性の長寿とその活力は、地域社会に明るさと活気をもたらしてくれると感じています。そして近年では、女性がさまざまな分野で活躍することへの期待が高まっています。本市においても、女性の声を市政やまちづくりに反映する取組を進めてきましたが、審議会などへの女性委員の登用は、まだ十分とは言えません。

げん き 元樹だより

市長からのメッセージ

元松 茂樹

市長の部屋

◀こちらからも
ご覧いただけます



そこで、女性がいきいきと活躍できるまちづくりを目指し、新たに『つとみらいカレッジ』を開講します。「まちづくりに興味がある」「新しいことに挑戦したい」「仲間をつくりたい」とお思いの方はもちろん、初めて講座を受講される方にも気軽に「ご参加いただける内容です。

宇土市の未来をより良いものにするためには、多様な視点と熱量が不可欠です。女性のパワーもその大切な原動力です。ぜひ『つとみらいカレッジ』にご参加いただき、新たな一歩を踏み出してみませんか？

これからも、市民の皆さんが輝けるまちづくりに取り組んでまいります。

※9月1日時点の住民基本台帳に基づく
100歳以上の高齢者数

*『つとみらいカレッジ』に関する詳細は、
市ホームページをご覧ください。

香典返し

市社協に次の方々から寄附がありました。厚く御礼申し上げますとともに故人のご冥福をお祈りいたします。(敬称略)

▽神合町	須藤卓見	亡母	理恵子	(七六)
▽築籠町	前村きみよ	亡夫	和人	(七七)
▽浦田町	八十田 宏	亡母	米子	(九四)
▽新町四丁目	田尻正三	亡父	正	(九〇)
▽網津町	清田愛子	亡叔母	植村ミツノ	(九五)
▽立岡町	中村幸隆	亡母	村松ウタ子	(八七)
▽築籠町	上田登枝	亡夫	利明	(九二)
▽椿原町	佐藤定子	亡夫	千秋	(七七)
▽岩古曾町	田河内芳春	亡母	ヒテ子	(九七)
▽椿原町	山本里美	亡父	和田憲二	(九三)
▽境目町	中村祐一	亡母	トミ子	(九四)
▽長浜町	園田知寛	亡母	タツ子	(九七)
▽門内町	矢野桂代	亡父	八周年	(八〇)
▽栄町	井上督志	亡父	棟雄	(八九)
▽本町二丁目	籾 裕治	亡母	七重	(九七)
▽松原町	豊田鈴子	亡夫	孝峰	(七二)

市協へのご寄附は、確定申告などで、所得税法と地方税法の「寄附金控除」ができます。
(※9月10日受付分までを掲載)

編集後記

▽今年の地蔵まつりは土日開催で10万人の人人人！カメラを構えれば人に押され、汗だくでシャッターを押す手も滑る。来年は空調服かドローンか…と真剣に悩んだ、灼熱の取材日でした。(東)



▽秋が好きです。金木犀が香ると「そろそろかな」と思うのですが、今年は暑さが長引いています。表紙撮影の日も、日中は真夏のような陽気でした。次号では、金木犀の香りとともに、秋らしい一文を綴れますように。(古)



▽表紙撮影で宇土マリーナにて、今話題のキャンプ&バーベキューを体験してきました！地元産の新鮮なハマグリや魚など、グルメも大満足。宇土の魅力を再発見できました。ぜひこの秋は、宇土でアウトドア時間を楽しんでください！(松)



▽9月5日、待ちに待った「無印良品」が宇土にオープンしました。新商品やSNSで話題の商品のチェックなど、つつい時間忘れて店内に長居してしまう今日この頃です。今月の肥後狂句はコチラ
衣食住 宇土はなんでも揃っとる(鳥)

